

友輪

発行所 横浜市南区宮元町4丁目83番地 電話 045-731-5373
編集 大山祇命神示教会本部 編集 電話 045-731-5373
©大山祇命神示教会 2018

時代の姿が大きく変わろうとする今、信者は家族で「教え」を学び、「真理」に生きる家庭をつくるのが必要。人は運命に重なる「人生」を歩んでゆける。「生きがい」を手にし、喜び多い人生を歩む人の心がここにあり

教えが人生を明るく

道理にかたがた生き方を、生きる力が湧き出てきます。前向きな勢いのある心を持つのです。そして、与えられた力を引き出し、磨いていくことです。

夢の多い環境に

「神示」は、使者を通し「真理」を世に示すのか。分るるかや、信者の心は明るく輝き、運命の力を軸に回っている。なぜ、気持ちが悪く沈んでゆくのか。有限の時に生まれて閉じゆく。無限の時に生まれて閉じゆく。この世は、運命の力を軸に回っている。なぜ、気持ちが悪く沈んでゆくのか。有限の時に生まれて閉じゆく。無限の時に生まれて閉じゆく。この世は、運命の力を軸に回っている。なぜ、気持ちが悪く沈んでゆくのか。有限の時に生まれて閉じゆく。無限の時に生まれて閉じゆく。

心の道に悟りを深め 一年ごとに開運へと

光寿信者参拝時

世の中の動きは、実に激しいものがあります。その中で、神は全てを見通し、その時々に必要なことをお教えくださいます。逆から言えば、神が示されるから、社会がそつなっていくともいえません。いずれにせよ、必ず神が言われるとおりにする必要があります。だからこそ、神が示される「指導」をよくよく学び、流れに乗って生きるのです。

「神示」は、使者を通し「真理」を世に示すのか。分るるかや、信者の心は明るく輝き、運命の力を軸に回っている。なぜ、気持ちが悪く沈んでゆくのか。有限の時に生まれて閉じゆく。無限の時に生まれて閉じゆく。この世は、運命の力を軸に回っている。なぜ、気持ちが悪く沈んでゆくのか。有限の時に生まれて閉じゆく。無限の時に生まれて閉じゆく。



心を高めた成果を神魂にご報告、御礼を



教えを学ぶことで一人一人が安定した心に

命を枯らさないための努力であり、教えを信念に据える努力です。教えを学び、真理に悟りを得て、人生に生かせるほど、心は明るく輝きます。悟りを得るとは、教えを学んで、まずは実際に気付くところから始まります。実体とは、性格、物事の感じ方や捉え方、受け止め方です。自分の修正点に分かるだけで、気持ちは明るくなります。努力する方向が分かるからです。神の教えや周りの姿からも多くを学び、努力を積み重ねていくには、確実に生き方を高められます。人生が夢の多いものとなっていくます。

奉仕心が生きがいを

人の仕合せの実現へ

人は誰しも、社会に役立つ力を持っています。その力を奉仕して生かしていかねば、必ず生きがいが得られず、またして人の仕合せのために尽力すれば、どれほど人生に徳が積み重ねられるか知れません。神の御心は、誰か一人の幸福を願うのではなく、世に平和と幸福をもたらすことを望まれます。

毎日安定した心で 『心の正道14』 発行

日々のさまざまな出来事に触れて、人の心は揺らぎます。そのように心の安定を欠けば、悩みます。大切なのは、安定した心で暮らすことです。神は、人のあるべき心の在り方を神示で指導くださっています。悩んだとき、迷ったとき、このように受け止め、考えればよいのか、それが学べるのが『心の正道』です。神示を生きる知恵として、真理に習って、自分自身を高めたいと思います。

知識に振り回されず 真理に生きる信念を

沖繩信者勉強会

この世は、全て運命実体で回っています。神は、お教えくださいます。運命は、人間だけにあるのではなく、土地にもあります。時代にもあります。運命は、世に役立つための力です。そうした運命と運命の力を重ね合わせていくことが、調和が取れた社会ができるのです。ところが、実体は根深いものがあります。一人一人にも、土地にも、さまざまな実体を受け継がれているのが、例えれば、争うものがあれば、よほどそれを自覚し、心掛けていかないと、実体に流されてしまいます。その地ならではの留意すべき傾向を、神は眞理に向けて繰り返して指導くださいます。

社会に役立つ子供に 和のある家庭環境が

愛する我が子、我が孫には、自分たちと同じ苦勞など味わうことなく、仕合せな人生を歩ませてやりたいと、誰もが願うものです。しかし、そうした思いは、なかなか実現しないのが現実です。それは、親から子へ、孫へと実体が受け継がれていくからです。それが、我が子の良さが存分に発揮できず、人生を終えることとなってしまったのでは、誠に無念です。実体とは、物事の感じ方、考え方、受け止め方に象徴される性格です。その人の性格が良くも悪くも作用して、実体を引き上げたり、引き下げたり、人生に大きく影響していきます。

一般社会では、知識に頼り、子供の教育に何が重要か思い巡らす親が多いものです。しかし、それは子供の運命を磨く確かな手助けにはなりません。神から与えられた良さを引き出すにはどうすればよいか、神はこのように表されています。

世に輝く人が増えて 奉仕心に生きがい



一人一人が社会で役立つ存在に

四月から新年度が始まった青少年の勉強会に、多くの人が参加しています。「どんな授業か楽しみです」と緊張していた新人も、徐々に元気に挨拶して教室に入る姿が、「本を読んだよ」と、声を掛ける小中学生もいます。

奉仕心に生きがい 海外の大学に客員教授として出向している七十代の男性は、現地の学生と

法律関係の仕事をしている女性の母親は、神の教えを基に娘と触れ合っています。複雑な案件で苦戦しているように見えれば、娘の心が安らぐように触れ合い、「自分の置かれた立場で、今できることを実践し」と励まし、母の励みになるように返すように促している。

介護職に従事する夫と、地域の学童保育に携わってきた妻、子供のない夫婦は、同じマンションの住人たちの家族のように感じています。「一人住まいの高齢者に明るく声をかけよう」と、神の教えを生活、この夫婦は、互いの親を思いながら声を掛け合うのが、自然と身の回りの交流の輪を広げています。

公務員を定年退職した男性が、地元のとん内会に就任。当初は、「こうあるべき」という考えが、役員の見直しを買ったところもありました。「正しいことでも調和を欠いては何にもならない」と、自己反省して教えを实践、教会の

心のかけ橋 折願のメモリ 新潟県 金子憲秋 先日、スマートフォンに買い替えました。以前から欲しかったメーカーの物で、子供のように返すことで、心が成長できることを実感した体験でした。

神示に触れて 生き方に変化が 栃木県 桑川芳穂 私は、心に残った神示を書き写してキッチンに張っています。「きょうは、心を清くしなさい」と、これを実践してきました。

笑顔があふれる 明るい美容室 長野県 荒木由美子 美容室を開業して四年、今は、息子を中心として、夫と私の三人で支えています。

心の中が温かく 石川県 塚本晴美 昔の私は、瞬間陽解がし器のように、ささいなことでも爆発した感情を家族にぶつけていました。

青少年が生き生きと 未来への土台を築く

活気があふれる授業 実りの集い小学生の部は、一年生が仲間入り。最初に座り、質問に元気よく答える姿が目立ちます。高学年の子が、「今は、教科書のことを読んでいて、教えるのは、和気あいあいとした雰囲気です。」

活気があふれる授業 授業で学ぶのは、「自分の良さを知る方法」「好かれる人になる」など、家庭や学校で学べるに生かせるものばかり。「この目標は...」と職員に問いつけられた一年生の女の子は、「一緒に頑張りたい」と、目を輝かせていました。

学ぶ期待が膨らんで 心をも育てる。授業だけでは足りません。「実りのみち」をきょうたいで賞したり、塾や習い事の移動時間、読んだり、人それぞれ、中には、親子で読むのを日課にする家もありました。

持ち味を引き出し 自分らしく成長を 15~30歳 友輝会 友輝先生が出席される全体会を皮切りに、友輝会の新年度が始まりました。新入生からは、「誰もが運命という素晴らしい力があると聞いて、希望

心のかげ橋 折願のメモリ 新潟県 金子憲秋 先日、スマートフォンに買い替えました。以前から欲しかったメーカーの物で、子供のように返すことで、心が成長できることを実感した体験でした。

神示に触れて 生き方に変化が 栃木県 桑川芳穂 私は、心に残った神示を書き写してキッチンに張っています。「きょうは、心を清くしなさい」と、これを実践してきました。

笑顔があふれる 明るい美容室 長野県 荒木由美子 美容室を開業して四年、今は、息子を中心として、夫と私の三人で支えています。

心の中が温かく 石川県 塚本晴美 昔の私は、瞬間陽解がし器のように、ささいなことでも爆発した感情を家族にぶつけていました。

親子で真理を学び 毎日を明るく生きて

心のかげ橋 折願のメモリ 新潟県 金子憲秋 先日、スマートフォンに買い替えました。以前から欲しかったメーカーの物で、子供のように返すことで、心が成長できることを実感した体験でした。

神示に触れて 生き方に変化が 栃木県 桑川芳穂 私は、心に残った神示を書き写してキッチンに張っています。「きょうは、心を清くしなさい」と、これを実践してきました。

笑顔があふれる 明るい美容室 長野県 荒木由美子 美容室を開業して四年、今は、息子を中心として、夫と私の三人で支えています。

心の中が温かく 石川県 塚本晴美 昔の私は、瞬間陽解がし器のように、ささいなことでも爆発した感情を家族にぶつけていました。

共に仕合せを目指す 家族に日頃の感謝を

面では、視覚障害の七十代の男性が登場。「三代で視力は、仕事もなく、神の教えに培った生き方を高めたい。教えに生かされる中、自分にもできることがある」と自信が膨らみ、「誰かの力になりたい」「人との縁を大切にしたい」と、心が生き生きとすることが、心を生かすことになる。

大切な存在だから 体には自由がある、周囲の助けが必要なものも出てきます。中でも、身近な家族は大きな支えです。そうした大切な存在に感謝を表す家族の会が、四月十八日に行われました。

ネットに情報を網羅 教会への理解を深く 情報化社会の今、インターネットは情報を得る有力な手段です。神示教会の公式サイトも、救世環境のあらゆる内容を知ることが出来ます。

成長してきた自分 部活を通して 茨城県 国井弘明 短大に進学し、勉強は大変ですが、高校の部活で努力したことが、心の支えになっています。私は、気持ちが弱く